

冬の省エネ

～我が家の場合～

深川 佳子

まもなく、また寒い季節になりますね。皆さんは、部屋を暖めるのに何をお使いですか？ガス、灯油、電気？

我が家では、石油ファンヒーターを長年使ってきました。が、とうとう故障してしまいました。修理して使いたかったのですが、最近では、メーカーは修理に前向きでなく、新しいのを買ったほうがいいと勧めます。どうしようか、考えている間も寒さは待ってくれません。とりあえず、夏しか使っていなかったエアコンを使いました。

なぜ、今までエアコンを使わなかったか・・・、なんだか、あまり暖かくなさそう、温風で乾燥して喉を痛めそう、電気代が高くかかりそう・・・などと勝手に先入観を持っていたようです。

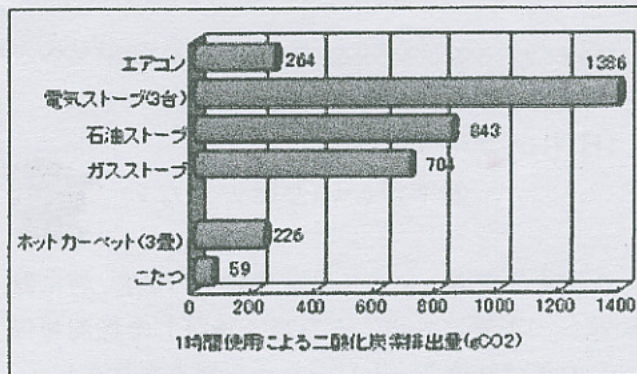
使ってみるとなんと、面倒な給油をしなくていいので楽、（夜に灯油がなくなったら、最悪ですよ！）火が出てないので安全、温度調節がしやすいなど、なかなかいいではありませんか！今まで使っていた石油ファンヒーターでは、部屋を暖めすぎていたようです。

足元は、ホットカーペットを敷き（以前も敷いていました）、片面使用で電気代を節約。後で、暖房器具の中でエアコンが1番、二酸化炭素排出量が少ないと知りびっくり！

我が家では、このままエアコンでの暖房が続きそうです・・・。

《ご参考までに》

いろんな暖房器具の二酸化炭素排出量の比較と
エアコン使用についての留意点です。



部屋全体を暖める装置ではありませんが、コタツがもっとも二酸化炭素排出が少なくなっています。やぐらの中を暖めるだけですが、これで家族全員が温まります。なんと石油ストーブの1/14しか二酸化炭素を出しません。コタツは世界に誇れる省エネ機器です。

「エアコンをおすすめできない場合」

- ・ 外が非常に寒い場合（-10℃以下ではヒートポンプは動きません）
- ・ 機種が古い場合
- ・ 隙間風が激しい場合

「エアコンが暖まらないと誤解される場合」

暖かい空気は天井付近に集まります。天井が暖まると「室温が上がった」とエアコンが判断して、暖房を止めてしまう場合がありますので、空気をかき混ぜる必要があります。

～～（有）ひのでやエコライフ研究所のデータより抜粋～

<http://www.hinodeya-ecolife.com/ecowiki/165.html>

《 理事に就任して 》

田原誠一郎

地球温暖化は最近ますますそのスピードを増しています。その進行を少しでも遅らせるためには、私達一人一人が、自然エネルギーの利用や省エネルギーなど、使用エネルギーを少なくする生活に変えることが大切です。しかし、「地球の温暖化防止」という目標はあまりにも大きいため、少しぐらい電気を使いすぎても温暖化に大して影響はないだろうなどという決心がにぶります。これでは温暖化による被害は将来ますます大きくなり、「私達が無駄の多い生活を続けることが子や孫につけを残し、彼らが大きな被害を被る」のです。私は「孫につけを残さない生活をしよう」と考えることにしています。「子や孫のため」と考えると環境に優しい生活することも励みになります。

そのような中で、きょうとグリーンファンドがめざしている「おひさま基金構想」は大きな重みがあります。「環境のために、今私達ができる何かをする」ことで、子や孫の世代に少しでも豊かな地球環境を手渡すことにがんばってみませんか。今後ともきょうとグリーンファンドへのご支援をよろしくお願いいたします。